

市民再登場

私の思い出のひとこまで

表紙技に生きる(381号)平成3年4月(に登場) 島 つねさん(沢端町)

今も現役です
家庭料理の指導を続ける島さんは今年72歳。昭和59年から働く婦人の家で、平成元年からは中央公民館でも料理講座を担当しています。「これからも栄養バランスのよい真心のこもった料理を」といっ島さんは、いつまでも優しい日本のお母さんです。



10年前

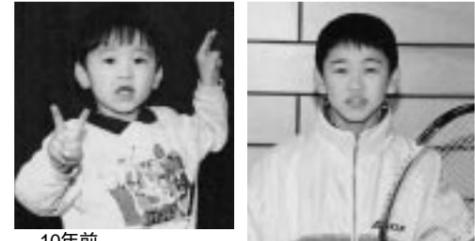
わが家のアイドル(372号)平成2年7月(に登場) 成澤沙織さん(斎川)



10年前

夢はデザイナーになること
南中学校の1年生で、現在はテニス部に所属。趣味は、手芸とお菓子作り。10年前のパパからひとこと「いつもVサイン!よくよしない子に」の問いに、沙織さん「はい、いつもスマイルです」と笑顔で答えてくれました。

わが家のアイドル(379号)平成3年2月(に登場) 佐藤裕太さん(白川)



10年前

テニスに夢中です
白川中学校の1年生で、現在はテニスに熱中。テニス部とテニス愛好会に所属し、日々練習に汗を流しています。スポーツは何でも大好きという裕太君の目標は大きく、テニスで全国大会出場。頑張ってる夢をかなえてください。

168号(昭和48年8月)の表紙に掲載された七夕まつり。園児たちは現在30歳をすぎています。



295号(昭和59年2月)の表紙を飾った中央公民館での成人式。成人となって、既に17年が経っています。

地道に創作活動を展開

白石市と丸森町の境にある大蔵山工房で、平成2年から彫刻の創作活動を続けている小関さん。市内では、毎年11月に沢端川で開かれる「白石・野外彫刻展」や、スパシユランドパークに設置された彫刻の作者の一人として



5年前



おなじみです。「大蔵山は採石場、この山の恵み」を生かして、これからも地道に活動を続け、自分のメッセージを発信していきたいらと思います。個展を開くことも一つの目標です」と抱負を語ってくれました。

広報紙は行政と住民の架け橋

広報しろいしの表紙から「元気」を感じます。広報紙の市民生活のアドバイスや健康、生涯学習の記事などは毎月楽しみにしています。私が広報紙で取り上げてほしいものは、やはり市民に身近なもの。地方分権に伴う行政と市民の役割といった特集や、各自治会・子供会で取り組んでいること、農・工・商業後継者たちの活動……今後とも市民の声を接点を合わせた広報紙であってほしいと思います。

まちづくりには、住民参加が欠か

せません。広報紙は行政と住民との架け橋として、市政や市民生活にかかわりのある情報を客観的に提供することで、市民が地域活動に参加する心を育てるものだと思います。広報紙を活用するのは読者である市民。例えば、ごみ問題に関連する記事を読んでも、白石を明るい美しいまちにしようという市民活動が活発になることを願っています。これからも市民が「元気」の出る広報紙を作ってください。

平成12年度市政モニター 小野忠昭さん(郡山)



これからの広報しろいし

親しまれる紙面づくりを目指します

これまで多くの市民の皆さんのご協力を得て、いろいろなお話を伺いました。また、まちの話など情報提供もたくさんいただきました。これからも地域に飛び込んで、生の声をどんどん紙面に載せたいと思います。

現在の「広報しろいし」は、文章はもちろん、写真、デザイン、レイアウトなど、まだまだ洗練されたものではありません。また、月一回の発行なのでタイムリーでない記事が掲載されることもありますが、一人でも多くの皆さんに見てもらえるよう、読んでもらえるよう、親しまれる紙面づくりを目指していきます。

昨年、全世帯を対象に実施された第四次白石市総合計画策定のための意識調査で、「具体的な市政情報を市民に伝える方法として、どのような方法がよいか?」との質問に対し、「広報紙」と答えた方が八割を占めました。この期待に沿えるよう、「広報しろいし」はこれからも市民と市政をつないでいきます。

「広報しろいし」が できるまで

(平成12年11月号の場合)

- ①取材をします(9月中旬~10月上旬) 「まちかどスームイン」ホットな白石の人など、まちの出来事や話題の人などを取材します。
- ②原稿を整理します (9月中旬~10月上旬) 取材した内容や、市役所各課・市民の皆さんから寄せられた募集・お知らせなどの原稿をパソコンで整理します。
- ③レイアウトをします(10月6日~9日) 整理した原稿と写真やイラストを各コーナーごとにレイアウトします。
- ④原稿を入稿します (10月10日) レイアウトした原稿や写真などを印刷業者に渡します。色の指定もこのとき行います。
- ⑤校正・初校をします(10月13日~14日) 印刷業者が作成したゲマを試刷りの内容をチェックします。
- ⑥校正・再校をします (10月19日) ⑤の作業をもう一度行います。
- ⑦最終校正をします (10月20日) ⑥印刷・製本などをします (10月23日~27日)
- ⑧印刷業者の業務です) (10月30日)
- ⑨配布します (10月30日) できあがった広報紙は、県政だより、

健康カレンダーなどと一緒に、自治会長さんのお宅にお届けします。その後、各家庭に届けられます。

「広報しろいし」のバックナンバー(2000年5月号以降)は、白石市のホームページでもご覧いただけます。
http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/back/back_01.html

平成12年宮城県広報コンクール(市部)において、特集「心のふれあい」を求めて掲載した「広報しろいし」496号(2000年11月)が「入選」となりました。取材にご協力いただいた皆様ありがとうございました。

